

ぼくらは太陽

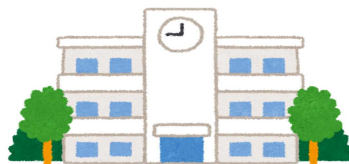
名古屋市立東桜小学校 HP <http://www.nagoya-c.ed.jp/school/higashisakura-e/>

子どもたちに伝えたいこと

13年前の今日、2011年3月11日14時46分、東日本を中心とする大きな地震がありました。震災から13年経ちますが、震災を忘れないために、被災地では様々な取組がされています。例えば、陸前高田市には、津波で住宅や樹木が流された中で奇跡的に残った一本の松があります。その松は現在は枯れてしまったのですが、特殊な加工を施してその場所に保存されています。また、様々な場所で復興の過程が展示されていたり、被災された方が講演をしたりしています。ある方は、「失ったものを悲しむのではなく、災害があったことを忘れずに、そこから学び、未来につなげることが大切。特に、子どもたちに『生き抜く力』を伝えることが大人の使命である」と話したそうです。

新型コロナウイルスのパンデミックも災害と考えると、私たち大人は、子どもたちにどんなことを伝えればよいのでしょうか。まずは、「自分で考え、行動できることの大切さ」です。ウイルスについての情報は、インターネットであっという間に世界中に広がりました。しかし、それらの中には間違った情報もたくさんあり、人々を混乱させたり感染者への差別につながったりしたこともありました。子どもたちには、多くの情報から正しい情報を選び、よく考えて正しく行動できる人になってほしいです。次に、「コミュニケーションの大切さ」です。4年生以上は突然の臨時休校により、学校に登校することができない期間を経験しました。その後の学校生活でも、感染予防のためにマスク着用やソーシャルディスタンスを守り、相手の表情から気持ちを察したりスキンシップで仲良くなったりすることが十分にできなかったと思います。オンラインでの学習は大変便利で効率的でしたが、直接対面してコミュニケーションを取ることは、かけがえのない楽しさや安心感につながることも実感したのではないのでしょうか。

この数年間、大きな変化を経験しましたが、学校現場で大切なことは何も変わらないことに気付きました。「考える力」も「豊かなコミュニケーション」も、これまでずっと大切にしてきたことだからです。子どもたちが激動の時代を強くたくましく生き抜くことができるように、これからもこの二つの大切さを伝えていきたいと思います。



体育委員会「長縄跳び企画」

各学級で長縄の8の字跳びに挑戦しました。それぞれが目標に向かって一生懸命取り組んでいました。予定していた3月4日(月)～6日(水)の記録会の日に雨天が続き、その日に計測できない学年もありましたが、計測できた学年はとても頑張っていました。計測がまだの学年・学級も今後取り組む予定です。



卒業生を送る会

3月7日（木）に卒業生を送る会がありました。在校生は、卒業する6年生のために出し物を披露しました。歌やダンス、演奏、クイズなど、祝福と感謝の気持ちを込めて発表することができました。どの学年の出し物も心の温まるものばかりでした。きっと6年生にとって忘れることのできない時間になったことと思います。

そら・にじ組は、「にじ」の歌を手話を付けて披露しました。いっぱい練習したことが分かりました。「おもちゃのチャチャチャ」は、みんなで楽器を演奏して盛り上げました。1年生は、「ありがとうレンジャー」の衣装がすてきで、ポーズも格好良かったです。また、最後の「ありがとうの花」の歌とダンスを全力で行う姿がとてもかわいらしかったです。2年生は、アンパンマンの劇やダンスがとてもユニークで、会場の笑いを誘いました。「これから優しいヒーローでいてください。」という言葉は6年生の心に届いたことと思います。3年生は、6年生も参加できるよう学校や先生に関するクイズを出して楽しませました。最後に披露した、学年全員での「ミッキーマウスマーチ」は圧巻でした。4年生は、6年生のすごいところを大きな声で24個もあげました。合間合間で流れる「唱」のダンスは会場全体を一つにするほど大熱狂のパフォーマンスでした。5年生は、学級閉鎖もありこの日はできませんでしたが、後日披露する予定です。6年生には期待して待っていてほしいです。会の最後には、6年生から1～5年生に向けて「旅立ちの日に」の合唱を送りました。6年間の思いを込めながら真剣に歌う姿に心を打たれました。会場にいる全ての人が歌声に聞き入っていました。卒業式でも期待しています。

コロナの影響も少なくなり、以前のように全員が体育館に集まって開催できたことを本当にうれしく思います。4年ぶりに1～6年生まで全校の子どもたちがそろって校歌を歌うこともできました。東桜っ子の一体感を感じることができ、子どもたちだけでなく、我々教職員にとっても忘れることのできない、すてきな時間となりました。

